

令和4年度 事業報告概要

(保育所 旭ヶ丘保育園) 定員180名

1. 施設利用状況等

4月当初は168名からのスタートとなりました。

3歳児は4月上旬より幼稚園への転園1名、5月より保護者の道外引越しにより1名減員となりましたが、8月に新しく2名の受入を行い定員に達しています。

4才児は8月に引越しにより1名減員となりましたが、10月には1名の受入を行い定員に達しています。

0歳児は4月当初受入れ希望15名のところ12名の入所で、当初予定より3名減員からのスタートでしたが、0・1才混合クラスの担任保育士が体調不良の関係から年度前半に退職し、募集をしても採用が大変難しく、配置基準の関係から、最終的に0才児の入所の受入れ定員24名のところ途中退所の1名を含めて18名の入所でした。このことから0才児の入所が今年度少なかったことで収入的には厳しい年度となりました。

2. 施設整備事業等

今年度の施設整備事業については大きな設備工事は行いませんでしたが、新型コロナウイルス感染対策補助金を使用して主に備品等の消毒用品を購入しています。

また、令和5年度より保育所型認定こども園になることから、外壁の園名に「保育所型認定こども園」を付加するサイン工事を3月下旬に行いました。

3. 施設内・外研修等

昨年同様に札幌市や札幌市私立保育連盟等の職員研修については年間研修計画に基づいて参加し、それぞれが知識を得て専門性を高め日々の保育実践に活かしてきました。また会議等での研修報告を通じて研修で学んだことを、受講した職員が他の職員に浸透させ、保育スキルと組織力の底上げを行ってきました。なお研修の参加は、会場参加、Web参加等感染予防を考慮して参加しました。

4. 各種委員会等

各行事に対する係について、事業計画に基づいて年度当初に職員を割り当て、スムーズに各行事が行えるようにしてきました。また各会議においては事前に主任以上の職員で事前打合せをして、各議題について十分議論をし、中堅以上意思統一をした上で会議を行ってきました。

5. 地域における公益的活動等

公益活動等については、今年度は新型コロナウイルス感染予防が緩和されたこともあり、就学児と近隣の小学校との接続に関する連携について、当園の年長児が小学校に訪問をして連携を図りました。その他例年同様に地域の育児相談の受付を行っています。

また保育園近隣の清掃については複数の職員で例年同様に行いました。